

I 教育目標	
激しく変化する社会において、他者と協働しながらより良い未来を創り出す力を育む ～未来を切り拓く健やかな心と、豊かな思考力・創造力をもつ生徒の育成～ ○ 心の豊かな人    ◎ 創造力に富む人    ○ 自らを鍛える人	

II 経営方針	
目指す学校像	安全・安心な学校づくりの下 ○生徒の権利を保障し、一人ひとりが自らの可能性を開花させ、活躍できる学校 ○保護者や地域と共に、「より良い社会を創造できる人間」を育てる学校
目指す児童(生徒)像	○主体性(Agency): 自律的に学び、行動に責任をもてる生徒 ○多様性(共生): 他者を認め、異なる価値観を尊重し思いやりの心をもった生徒 ○創造性(未来): 地域社会に貢献し、新たな価値を創る生徒
目指す教師像	○研究と修養に励み、生徒の成長に向けた向上心をもち続ける教師 ○対話を大切にして生徒理解に努め、生徒を支援する教師 ○柔らかな発想と積極的な実践ができる教師集団
経営理念	◆ 経営の三本柱 (1) <b>多様性の尊重</b> (共生: 安心と平和の土壌) ※豊かな人間性と、他者と共に平和な社会を築く心の育成 ① <b>人権教育</b> ・人権の理解・尊重、包括的性教育、オリパラ教育等 ② <b>平和学習</b> ・長崎修学旅行、戦争に関わる講話、新聞の活用 ③ <b>心の居場所づくりと学校のユニバーサルデザイン化</b> ・授業のUD化～構造化・可視化・焦点化(小中連携) ・不登校支援～E ルーム、SC、SSWの活用 ・C組との交流及び共同学習推進  (2) <b>主体性の伸長</b> (自律と自立: 言葉と非認知能力の向上) ※自ら考え、伝え、挑戦し続ける資質・能力の育成 ① <b>よむ YOMU ワークシート、新聞の活用</b> ・読解力・表現力・対話力・情報活用能力の育成 ② <b>進路学習</b> ・キャリア教育の充実 ③ <b>生徒自治力の向上</b> ・縦割りの学習・特別活動・生徒自治活動等の活性化 ④ <b>生活力の育成</b> ・食育と消費者教育の推進 ・体力の向上  (3) <b>創造性の涵養</b> (創造: AI 活用と未来の開拓) ※テクノロジーを使いこなし、新たな価値を創造する力の育成 ① <b>生成 AI の活用</b> ・AI との対話も行いながら、探究的な学びや創作活動を活性化させる。 ・ <b>AI リテラシー教育</b> (誤情報や著作権を学ぶ授業を通じ、情報を批判的に捉える力を育成) ② <b>教科横断的な学習(STEAM 教育)の推進</b> ・コラボ授業で学ぶ楽しさを味わわせ、教科を多角的に学び知を繋げる態度を育成する。 ③ <b>学校図書館との連携、及びSDGsをテーマとした探究学習</b>

### Ⅲ 経営目標

重点領域 1		共生：豊かな人間性と平和な社会を築く心の育成
中期経営目標	(1)人権・平和教育を推進する。 (2)多様性の理解と「受援力(助けを求める力)」を高める。 (3)「居場所」として、「共に成長する場」としての学校の在り方を確立させる。	
短期経営目標	(1)道徳や特別活動において、人権尊重・多様性尊重の姿勢を育てる。 平和に関する講話、書籍や新聞等、集大成としての修学旅行を通して、未来の在り方を考えさせる。 (2)受援力を高め、共生社会の意義や価値を思考させ行動できる生徒を育成する。 (3)不登校支援により、家庭以外の居場所をもたせる。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	・道徳や講話により、人権への理解を深めさせる。 ・特別活動を軸にして、日頃から発言しやすい学級づくりに務める。 ・継続的・計画的に平和学習を進め、世界情勢や未来を考える機会を設定する。 ・新聞内の情報を生徒と共有する機会を設ける中で情報リテラシーを向上させる。 ・生活指導部会での情報共有を図り、SCや関係諸機関とも連携し、いじめ解消に努める。	・「自分や周りの人の人権・個性を大切にしている」と肯定的回答する生徒：90%以上 ・SNS等の利用において「相手の気持ちや情報の正しさを考えて行動している」生徒：90%以上 ・「平和な社会のために自分ができることを考えた」：80%以上 ・「社会情勢に関心をもっている」を80%以上
2	・C組への指導・C組との交流授業を通して共に生きる力を育成する。 ・校内委員会での情報共有や個別の指導計画を基に、必要な支援を行う。	「悩みがあるとき、先生や周りの大人に相談できる」と回答する生徒の割合：80%以上
3	不登校生徒への支援や保護者との連携により、生徒の家庭以外の居場所をつくる。	「学校に自分の居場所がある」と感じる生徒の割合（不登校支援等の成果）：90%以上

重点領域 2		自律と自立：言葉の力と非認知能力の向上
中期経営目標	(1)各教科において、「主体的に学びに向かう態度」を育成する。 (2)自治活動を通して、自己肯定感・自己有用感を向上させる。 (3)キャリア教育を通して、主体的に生きる力を育てる (4)生きる力の育成	
短期経営目標	(1)主体的に学びに向かう態度を育成する授業づくりや家庭学習の指導を工夫する。 ・各種検定や学習コンテスト、朝学習、昼読書等を通して学習習慣を定着させる。 ・よむYOMUワークシートや新聞を活用し、読解・要約・対話力を全教科で育成する。 (2)生徒主体の行事・生徒会活動・部活動の運営を行わせる。 (3)振り返りやキャリア・パスポートを活用し、「粘り強さ」や「実行力」の成長を実感させる。 (4)食育や命を大切に教育を推進し、健康や環境・生命を大切に育む。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	・シラバスの活用、ノート作りや家庭学習の仕方等を各教科で指導する。 ・朝学習、昼読書、チャレンジウェズデー、各種検定等、個に応じた取り組みを支援する。	・「シラバスやノートの活用により、見通しを持って学習に取り組んでいる」：80%以上 ・「よむYOMUワークシート」等の活用により、読解力・要約力の向上を実感する：80%以上
2	・縦割り学習や活動において上級生のリーダーシップを計画的に育成する。	行事や部活動、縦割り活動において「自分の役割を果たし、役に立った」：85%以上
3	・マンダラチャートやキャリア・パスポートを活用し、生き方を考え行動する力を育成する。	「自分の成長や将来の目標を具体的に書ける」生徒の割合：90%以上
4	・食育、弁当の日、安全指導、セーフティ教室等を計画的に進める。また、消費者教育を通じ、安全・安心な生活が送れるよう指導する。	「朝食を毎日食べる」「食や命を大切にしている」：90%以上

重点領域 3		創造: AI 活用と未来を拓く探究学習
中期経営目標	(1) AIリテラシーを向上させ、テクノロジーを「思考の道具」として使いこなす力を育てる。 (2) 探究学習の活動を向上させる(課題解決学習)。 (3) STEAM教育を中心に、教科横断的な学習を活性化させる。	
短期経営目標	(1) 生成 AI を「思考の壁打ち相手」とした表現・探究活動を行い、批判的思考を育てる。 生成AIリテラシーを向上させる。 (2) 南中探求タイムを各学年において活性化させる。 1、2年生は文化祭後に自己の課題を再設定し、SDGs 達成に向けた取組を行う。 また発表を公開することでプレゼンテーション力を高める。 (3) 生成 AI を活用しながらコラボ授業を実施し知の深化を進める。	
項目	努力指標 (教師側)	成果指標 (こども側)
1	AIリテラシーの授業・講義を計画的に行うことができた。	・生成 AI を「思考の壁打ち」として適切に活用し、自分の考えを深められた:80%以上 ・AI 活用のルール(リテラシー)を正しく理解している:100%
2	南中探求タイムを計画的に運営し、自己の課題を再設定し探究させる活動ができた。	文化祭後の課題再設定において、具体的なアクションプランを立案できた:80%以上
3	(生成AIを活用しながら)コラボ授業を全学年に向けて行うことができた。	「コラボ授業等を通じ、複数の教科のつながりを感じた」:80%以上

重点領域 4		連携: 家庭・地域・企業との教育コミュニティの形成
中期経営目標	(1) 外部の人材を活用し、教育活動の魅力を高める。 (2) 保護者・教員の負担軽減を図る。	
短期経営目標	(1) 外部リソースのサポートを受けた課題解決学習や生成 AI の活用等を行う。 地域・園小連携の推進を行う。 (2) 外部リソースのサポートを受けた生成AIの活用を校務改善及び授業力向上に活用する。	
項目	努力指標 (教師側)	成果指標 (こども側)
1	外部リソースを活用した授業や講話等を自身の分掌や学年で行った。	「外部講師による講話や授業が、自分の考えを広げるのに役立った」:85%以上
2	校内研修により、生成AIの活用等を推進することができた。	「学校の授業や活動が魅力的で、満足している」生徒・保護者の割合:90%以上
3	☆AI 活用等の校務改善により、生徒と向き合う時間が増えたと実感する教師:90%以上	